

毎日の暮らしをもっと元気にポジティブに過ごせるように。
アスポプラス「健康特集」では、県民の皆さんの充実した生活
に役立つ情報を提供します。

巻頭インタビュー

糖尿病を学ぶ



麻生好正 獨協医科大学病院病院長

あそう・よしまさ 獨協医科大学内科学（内分泌代謝）
主任教授、栃木県糖尿病協会支部長、栃木県糖尿病療養
指導士認定機構委員長。

11月14日は「世界糖尿病デー」。国民の5、
6人に1人が糖尿病かその予備軍といわれ、いま
や現代の深刻な国民病の一つとされている糖尿
病。中でも国内患者の95%を占める2型糖尿病
は遺伝的な要因に加え、過食・運動不足・肥満な
ど生活習慣が発症に大きく関係しているといわ
れています。発症予防、進展防止の基礎知識と治療
について獨協医科大学病院病院長の麻生好正先生
に伺いました。

糖尿病とは？
糖尿病は全身に網羅する血
管の病気です。血糖値（血液
中のブドウ糖）が慢性的に高
い状態が続くと、血管内皮が
損傷し全身の細い血管に障害
をもたらす合併症を引きしま
す。その代表として糖尿病網
膜症（目）、糖尿病腎症（腎臓）、
糖尿病神経障害（足のえそ）
が挙げられ、「三大合併症」と
呼ばれています。

さらに大動脈に起こる障害
としては心筋梗塞、脳梗塞な
どがあります。また、糖尿病
患者におけるがんの発症リス
クの高さも分かってきまし
た。日本人では特に大腸がん、
肝臓がん、すい臓がんの発症
リスクが通常よりも40%も高
いことが報告されています。

さらに高齢者においてはアル
ツハイマー型など血管性認知
症の発症リスクがおよそ2倍
高くなっています。このよう
なことから、糖尿病は体のさ
まざまな部分に影響を及ぼす
全身性疾患ともいわれていま
す。

食事、運動、意識付けが鍵

生活の改善、②適度な運動、
そして③糖尿病についてよく
学ぶことです。程度によつて
薬物療法の併用もありま
すが、まず患者さん自身が「病
気をよくしよう」と思うこ
とが大切です。糖尿病は完治
させることはできませんが、
医療のサポートを受けて、自
分自身でコントロール（自己
管理）しながら治療していく
病気です。

食事・運動を心がけても血
糖値が十分に下がらない、肥
満がなかなか改善されない場
合は薬による治療を行います
。今、最も注目されている
薬として「GLP-1受容体
作動薬」と「SGLT2阻害
薬」があります。体重を減ら
す、食欲を抑える作用があり
ます。また、心・腎保護作用も
有しています。一人一人に適
した上手なコントロール方法
を身に付け、我慢を強いられ
るばかりではなく、質の高い生
活を楽しみながら治療を継続し
ていくことが大切です。

健康

下野新聞の生活情報紙
Aspo plus
特集

Vol.77

編集協力／栃木県保健福祉部健康増進課健康長寿推進班
栃木県医師会

企画・制作／下野新聞社ビジネス局
TEL028・625・1104

特集テーマ

糖尿病

1 巻頭インタビュー

2.3 11月は糖尿病予防・
重症化防止強化月間

全身を網羅する血管の病気



カワチ薬品 薬剤師からの
ワンポイントアドバイス

歯周病は、お口だけではなく、
心疾患や糖尿病等の全身疾患
にも影響を与えているといわ
れています。歯ぐきの出血やはれ
等の症状が現れた方は、医薬品
の「アセス」を試してみませ
んか？アセスには、カミツリ、ラ
タニア、ミルラの3種の天然ハー
ブが配合されており、歯肉炎・
歯槽膿漏の諸症状を緩和しま
す。毎日丁寧な口腔ケアを行
い、歯と歯ぐきの健康を心掛け
ましょう。

「糖尿病のリスクを減らす生活習慣」
詳しくは終面をご覧ください。



歯周病症状がでたら、 医薬品！



歯肉炎・歯槽膿漏の諸症状（歯ぐきからの出血・はれ・口臭）の緩和 第3類医薬品
適量（1.0g、約3cm）を歯ブラシにつけて、1日2回（朝・夕）歯肉をマッサージするように磨きます。
佐藤製薬株式会社 東京都港区元赤坂1丁目5番27号 お客様相談窓口 TEL:03-5412-7393（9:00～17:00/土・日・祝日を除く）

歯周病
のための
医薬品

アセス



詳しくはWEBへ

アセス

検索